

グリーン・ルネサンス推進事業 ～地域に根ざし、暮らしに学ぶ～ 事業実施主体:美唄市(北海道)

- 美唄市では、「地域に根ざし、暮らしに学ぶ(生活の場)」に基礎をおく教育プログラム」による農業の実体験活動を中心とするグリーン・ルネサンス事業を推進している。
- この中で、幼稚園児から中学生までが行う農業体験学習、自ら収穫した農産物を調理、共食する収穫祭、食農体験の発表を行うシンポジウムを行った。
- これらの取組により、子供たちは、「豊かな心」「社会性」「主体性」が育まれ、将来に渡って生きる力を養うことができた。



【取組の内容】

- 農業体験学習
美唄市内の幼稚園3園、小学校4校、中学校3校において、延べ1,640人が稲作体験(田植え、生育観察、稲刈り、脱穀)や畑作体験(播種、草むしり、収穫)を行った。
- 収穫祭
小学校4校、幼稚園1園において、子供たちが自分たちで苗・種から育てた作物の収穫、調理、共食を行った。
- グリーン・ルネサンスシンポジウム
美唄尚栄高等学校の農業クラブ活動、小学校の食農体験について、生徒からの発表や百々瀬いづみ氏(札幌保健医療大学准教授)による食生活の講演を行った。



手作業による田植えの苦労が実感できた体験の様子



待ちに待った収穫祭！自分たちで作ったお米と野菜を使った調理の様子



美唄尚栄高等学校農業クラブの活動発表の様子

【取組の成果】

シンポジウムにおいて、「お米や野菜を作ることは大変だったけど、その分美味しく感じた。」「農家の人はいつも大変な作業をしてお米を作っているから、感謝しないとイケない。」と発表するなど、子供たちは、食と農業の大切さ、役割、素晴らしさを感じ取ることができた。

また、シンポジウムの開催のほか、活動内容の美唄市ホームページへの掲載やテレビ放映により、地域住民へ取組を広く発信することができた。



東小学校 & 尚栄高校

高校生と一緒に稲刈り体験！



栄幼稚園 & 尚栄高校



地域の人々と一緒にたくさんの喜びとっぱいの笑顔とともに食べ物に感謝！

収穫祭でカレーを共食する様子

